

「なるほど ザ つくば」

茨城県つくば市立谷田部小学校 武藤 久代

はじめに：3年生の総合的な学習の時間に、学区内の「町探検」について、絵地図づくりを行いました。その後、齋藤さんは、お母さんと一緒に夏休みを利用してつくば市内の施設を回り、写真と地図でていねいにまとめてくれました。

作成者の齋藤さんと、一緒に作成されたお母さんに地図づくりの話をお聞きしましたので、ご紹介させていただきます。

作成者の話：谷田部小学校3年 齋藤 菜摘

わたしは町たんけんをして、家や学校のまわりにはどんなたて物があるのかをもっとくわしく知りたくて、この地図をかきました。くふうしたところは、地図記号を使ってたて物の名前や土地の使われ方をかいたり、しゃしんをとって見やすくはったりしたところ。苦労したところは、しゃしんをとりに行ったとき、史跡や天然記念物がなかなか見つからなかったことです。

わたしは、つくば市は高速道路やつくばエクスプレスができてから、緑が少なくなり、けしきがどんどん変わっていくので、今のうちにわたしが住んでいる地区の様子をのこしたいと思いました。それには地図づくりは、一ばんよい方法だと思い、楽しくつくりました。

一緒に作成したお母さんの話： 齋藤 弘子

娘が3年生になって地図記号を習い、これを機会に自分たちが住んでいるまちの様子をわかりやすくまとめたみたいという思いから地図をつくることにしました。

地図をつくるのにあたり、まずインターネットでつくば市のことについて調べて、市には、県や市指定の史跡や天然記念物が多くあることを知りました。そして親子でカメラを片手に学校の周りや通学路を歩きました。すると新しくできた広い道路沿いやつくばエクスプレスの駅前には、大きなスーパーやマンションが建設され、まるで異空間のようでした。また天然記念物のある場所がなかなか見つからなかったり、松並木は松が枯れてしまい看板だけが残っていたりしました。

地図をかくときには、参考にした地図と実際に見てきた地形を照らし合わせ、主な道路や土地の区割りの線をかき、建物や土地利用の様子を色分けしてかきました。また見やすい地図にするために、必要な写真や調べたことなどの文は周りに貼りました。

私たちは、この地図づくりで郷土の歴史にもふれることができました。娘には、自分が生まれ育ったまちが変わっていく様子をしっかりと見つめ、ふるさとを大切に思う気持ちをいつまでも持ち続けていってほしいと思いました。